

NGV Information

天然ガス自動車

【発行】東邦ガス株式会社 天然ガス自動車推進グループ 【制作協力】名古屋市環境局地域環境対策部大気環境対策課

2009第16回名古屋モーターショーへ 天然ガス自動車を出展



平成21年11月20日(金)～23日(月・祝)、ポートメッセなごやで開催された第16回名古屋モーターショーに天然ガス自動車を出展しました。

今回は、日本ガス協会のPRカー「コナン号」による天然ガス自動車に関するクイズラリーとビンゴゲームを実施したほか、今後の天然ガス自動車普及の鍵となる天然ガス大型トラック「パナソニックビエラ号」(車輛総重量25トン)を展示し、都市間輸送における高出力・低公害・低燃費を実現するという天然ガス自動車の新たな可能性を示し、来場者の関心を集めました。なお名古屋モーターショーには4日間で延べ17万4,500人が来場しました。

2009東京トラックショーに日本ガス協会がNGVを出展

平成21年10月29日(木)～31日(土)の3日間、東京ビッグサイトにおいて「2009東京トラックショー」(主催(株)日新出版、後援(社)全日本トラック協会)が開催されました。同フェアは、『今こそ、主張する「トラック」へ。』と題して、トラック産業を支える車体、部品、機器装置などのトラック周辺機器メーカーを中心に133社が出展し、延べ6万人が来場されました。(社)日本ガス協会はこのフェアにコナン号、25t天然ガストラック、ミニキャブ・バイフューエル、エルフCNG-MPI他を展示し、天然ガス自動車のPRを実施しました。



2009東京トラックショーで記念シンポジウムを開催

平成21年10月31日(土)に、以下の内容で記念シンポジウムが開催されました。

シンポジウム 「低炭素社会に向けて未来のモビリティはどうあるべきか？」

基調講演① テーマ：「CO₂削減へ向けて世界がすべきこと、日本のすべきこと」
講師：末吉竹二郎氏(国連環境計画 金融イニシアチブ特別顧問)

基調講演② テーマ：「COP15へ向けて日本は低炭素社会へリーダーシップを発揮できるのか ～モビリティの未来はどのようなのか?～」
講師：福山 哲郎氏(外務副大臣 民主党地球温暖化対策本部事務総長)

パネルディスカッション テーマ：「運輸部門のCO₂削減はどのように実現すべきか? ～どうなるエコカー、エコトラック!～」

パネリスト：福山 哲郎氏(外務副大臣 民主党地球温暖化対策本部事務総長)

末吉竹二郎氏(国連環境計画 金融イニシアチブ特別顧問)

金谷 年展氏(慶応義塾大学大学院政策メディア研究科教授)

コーディネーター：村田佳壽子氏(ワールドウォッチ研究所 日本副代表、日本環境ジャーナリストの会 副会長)

次世代低公害車「長距離用大型CNGトラック」による共同輸送を実施

国内におけるCNG自動車は、低公害車および石油代替車として、既に約3万8千台以上が普及し、そのうちトラックは、積載量2tクラスを中心に約1万7千台が実用化されていますが、長距離用かつ大型のCNGトラックは、現在、国内で唯一の公道試験車であります。今回試験中の長距離用大型CNGトラックは、次世代低公害車開発プロジェクトによる開発で、高出力、低公害、低燃費を実現、1回の燃料充填で600km以上の走行が可能となりました。今後、大型トラックの次世代低公害車として、陸上輸送の環境負荷低減に期待が持たれています。

従来のディーゼルトラックで運行した場合と比較して、CO₂排出量は10%、NO_x排出量は90%の削減となります。また、浮遊粒子状物質の排出はほぼゼロとなります。

物流拠点が隣接している企業が共同輸送を行なうことにより、2009年度年間で、空回送距離が年間7600km削減でき、CO₂排出量では、大型CNGトラックの効果と合わせ、年間18tの削減となります。

大型トラックの都市間輸送の分野において、次世代低公害車の導入を積極的に推進していきます。

国内最大級 25 トンの天然ガストラックの導入

パナソニックロジスティクス(株)さまは平成21年6月、薄型テレビのパネル輸送用車両に国内最大級総重量25トンの天然ガストラック(写真は1ページ参照)を導入されました。

従来のディーゼル車と比較して、浮遊粒子状物質(PM)を排出せず、窒素酸化物(NO_x)排出量は60%減、二酸化炭素(CO₂)は年間約7トンの削減効果が期待されています。

今回導入された25トン天然ガストラックは、排気量13ℓの直列6気筒エンジンにマルチポイントインジェクション燃料噴

射システム、ガス容器5本(715ℓ)を搭載し、1回の充填で約450kmの航続が可能です。また、より多くの荷物を積載できるように低床仕様でパレット2段積みを可能とし、輸送効率の向上を図られました。

現在は、兵庫県尼崎市のパネル工場から同市内の物流拠点までの輸送に使用しており、今後は天然ガストラックの更なる導入拡大に向けて検討されています。

海外NGV情報

現在、海外では環境問題や石油代替を目的に天然ガス自動車の普及が進んでおり、世界では既に約1,000万台が走行しています。また、近年では天然ガス自動車の耐久レースや、天然ガス仕様のハイブリッドなども発表されています。

フォルクスワーゲン シロッコ

09年のニュルブルクリンク24時間耐久レースに、シロッコの天然ガス仕様の『シロッコGT24-CNG』で参戦し、見事にクラス優勝。

URL <http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20091029-00000022-rps-ind>



トヨタ カムリハイブリッド

平成20年11月のロサンゼルスモーターショーに続き、米国トヨタ販売は、昨年秋にラスベガスで開幕されたSEMAショーで、『カムリハイブリッドCNG』(天然ガス自動車)をベースにした『サーフライダー』を初公開。CNG満タン時の最大航続距離は約400km。

URL <http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20091104-00000055-rps-ind>



名古屋市からの お知らせ

路上禁煙地区



(禁煙地区の路面表示)

安心・安全で快適なまちの実現のために...

名古屋市では、安心・安全で快適なまちの実現のため、市内全域を対象に、公共の場所で喫煙するときは、歩きタバコをせず、吸い殻入れの携帯に努めるよう定めています。

また、人の参集が特に著しい繁華街、ターミナル周辺など、吸い殻のポイ捨てや路上喫煙の危険性を考慮して、名古屋駅、栄、金山、藤が丘を「路上禁煙地区」に指定し、区域内で喫煙された方には2,000円の過料を科しています。皆様のご協力をお願いします。

名古屋市環境局作業課 TEL : 052-972-2385



(啓発チラシ)



ユーザー紹介



名古屋(営)
高山 卓也さま



中埜総合印刷(株)さま



中埜総合印刷(株)さま(本社半田市)は、明治16年創業の老舗の総合印刷会社です。平成10年に初めて天然ガス自動車(シビックCNG)を名古屋営業所(名古屋市中区)で導入され、今回更新時期を迎えました。更新車種を検討した際、天然ガス自動車に乗用車のラインアップがなくなっていることから、ガソリン車への更新を検討されました。しかし、地球環境保全に貢献することは企業の重要な使命であるとの考えから、プロボックスCNG専焼車への更新とされました。この車両をお使いの担当者の方からは、「乗用車からバンタイプへの更新と言うことで、使い勝手や走行性能での心配はあったが、使ってみると思ったより使い勝手も良い。」との感想をいただきました。今後は他の事業所への天然ガス自動車導入も検討していきたいとお考えです。

中部キリンビバレッジサービス(株)さま

中部キリンビバレッジサービス(株)さま(名古屋市区)は、中部圏で自動販売機によるキリンビバレッジの清涼飲料を販売されています。この度、天然ガスでもガソリンでも走行できるミニキャブ・バイフューエルを導入されました。

中部キリンビバレッジサービス(株)さまからは「排気ガスがグリーンで地球環境に貢献できる車両を使いたいと思っていました。天然ガスで走行すればCO₂が削減できるので、地球温暖化対策に役立ちます。その上、天然ガスはガソリンより安いのでランニングコストもあり、一石二鳥です。また、天然ガススタンドがない地方に行く場合はガソリンでも走行できるため安心です。」とのお話を伺いました。これからも天然ガス自動車の導入を検討されています。



(株)シードさま

(株)シードさま(一宮市)が食品配送用に天然ガストラックを導入されました。運ばれるのは、有機野菜・低農薬野菜、無添加食材の会員制宅配サービスの、らでいっしゅぽーや(株)中部センターさま(一宮市)の食品です。

食の安全と環境問題には共に社会の関心が高まっています。安全で安心な食品を排気ガスのクリーンな天然ガストラックで運ぶ、これは時代のニーズにピッタリ合った組み合わせです。これからも天然ガストラックによる配送がもっと増えるといいですね。



千葉県茂原市 大多喜ガス(株)、関東天然瓦斯開発(株)

天然ガス自動車フォーラム
2009年度小研究会

「国産水溶性天然ガス採掘プラント設備」見学会



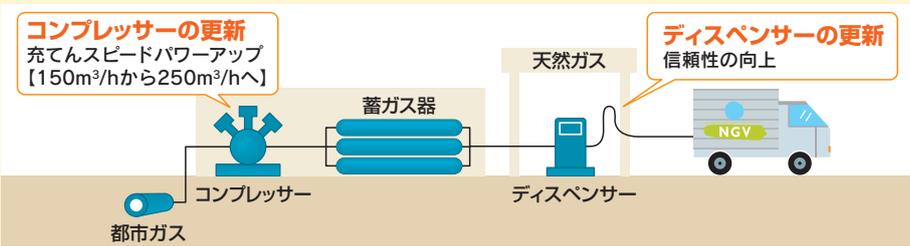
天然ガス自動車フォーラム事務局
<http://www.ngv-f.com/user/youkou.html>
 〒102-0001 東京都港区虎ノ門1-15-12
 (社)日本ガス協会
 天然ガス自動車プロジェクト部内
 担当: 上野
 電話: 03-3502-0215
 FAX: 03-3502-3676

平成21年12月10日(木)、天然ガス自動車フォーラム2009年度小研究会が開催されました。今年度は「国産水溶性天然ガス採掘プラント設備(千葉県大多喜ガス、関東天然瓦斯開発)」の見学会が実施され、全国のガス会社やNGV関連メーカー関係者を中心に23名が参加いたしました。当日は、大多喜ガス及び関東天然瓦斯開発の方々から、わが国最大の水溶性天然ガス田である「南関東ガス田」の説明や、わが国初の天然ガス事業に着手したことなどを昭和初期の貴重な映像フィルムの上映により紹介していただいたほか、実際にガス井から天然ガスとコードを採取するプラントの見学をいたしました。日頃LNGの輸入を通しての天然ガスを身近な都市ガスと考えている参加者は、プラント内に湧き出ている目の前の地下水とともに国産天然ガスが湧き出ている現場を目の当たりにし、天然ガスの有効利用・高度利用の必要性をあらためて感じました。

この小研究会はNGVフォーラム会員対象に年1回実施されており、NGVに関わる全国の施設見学、学識者の研究室訪問などタイムリーな話題を提供しています。天然ガス自動車フォーラム事務局では現在、会員募集を実施しておりますので、興味のある方は是非ご入会をご検討下さい。お問合せ先は左記のとおりです。

名西エコ・ステーションがパワーアップしました!!

皆さまのご協力により、無事、充電設備改造工事が完了し、1月25日(月)から営業を再開しました。改造工事に伴う営業停止期間中は、皆さまに大変ご迷惑をお掛けしました。深くお詫び申し上げます。
 今回の設備改造によって、充電スピードがアップし、小型車であれば2台同時充電が可能となりました。パワーアップした名西エコ・ステーションを、ぜひご利用下さい!

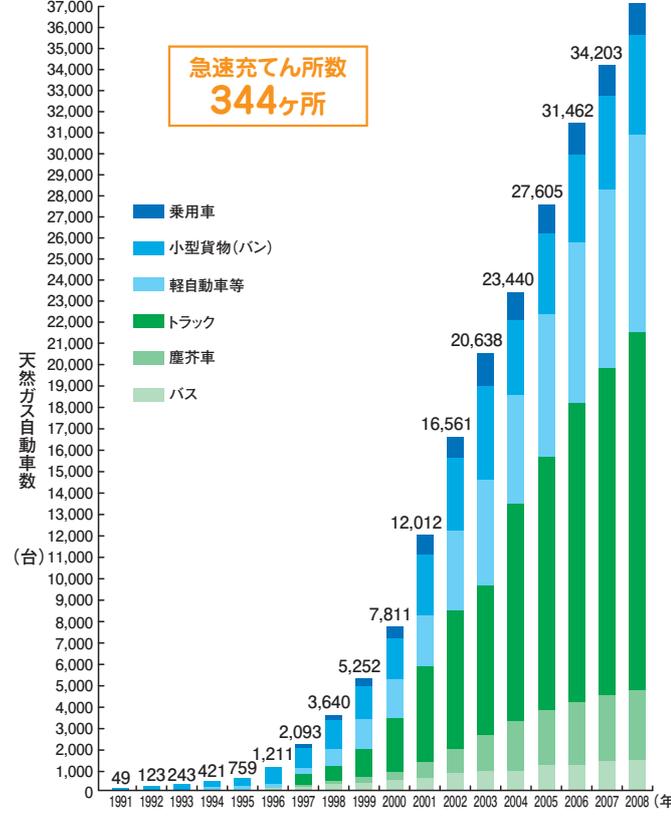


丸の内エコ・ステーションの営業を一定期間休止させていただきます

敷地の一部を改装する工事を実施するため、以下の日程で丸の内エコ・ステーションの営業を休止させていただきます。
平成22年2月3日(水)～3月31日(水)予定
 ご不便とご迷惑をお掛けし誠に申し訳ありませんが、営業休止期間中は、周辺のエコ・ステーションをご利用いただきますようお願い申し上げます。



全国天然ガス自動車普及の推移



全国の普及状況

(平成21年9月末現在)

導入地区	北海道	東北圏	関東圏	東海・北陸圏	近畿圏	中国・四国圏	九州圏	合計
軽自動車	129	100	2,501	1,710	2,512	423	858	8,233
乗用車	63	36	652	378	221	101	54	1,505
小型貨物(バン)	51	84	2,032	1,127	1,251	157	147	4,849
トラック	351	168	9,333	1,964	4,494	539	391	17,240
塵芥車	34	10	2,015	277	908	45	37	3,326
バス	18	25	792	187	368	50	27	1,467
フォークリフト等	1,159	60	56	8	111	0	28	1,422
合計	1,805	483	17,381	5,651	9,865	1,315	1,542	38,042

※フォークリフト等には、ターレット車、トーイングトラクター等も含む

東邦ガス供給区域の普及状況

(平成21年9月末現在)

事業所	国・自治体	運送事業者	一般民間企業	学校法人等	東邦ガス	合計
軽自動車	93	7	223	0	428	751
乗用車	41	3	83	0	94	221
小型貨物(バン)	216	12	287	1	221	737
トラック	71	1,143	274	0	8	1,496
塵芥車	96	55	38	0	0	189
バス	69	6	15	64	3	157
フォークリフト等	0	0	1	0	5	6
合計	586	1,226	921	65	759	3,557

※フォークリフト等には、ターレット車、トーイングトラクター等も含む

天然ガス自動車に関するお問い合わせ

東邦ガス(株) 天然ガス自動車推進グループ 電話: 052-872-9356
 〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18 FAX: 052-881-0008

